

令和5年度（2023年度）

主要施策の成果報告

経済部

観光スポーツ部観光課

目次

1 経済部

(新) 飲食業人材不足等対応支援費	1
中小企業振興資金融資事業費	2
旭川市事業継続支援金	3
デザイン推進事業費	4
ユネスコ創造都市ネットワーク連携費	5
(新) あさひかわデザインハブ検討費	6
スタートアップ伴走支援費	7
(新) IT企業進出支援費	8
施設整備費（動物園事業特別会計）	9

2 観光スポーツ部観光課

旭川観光コンベンション協会補助金	10
観光プロモーション推進費	11
大雪カムイミンタラDMO推進費	12
(新) アドベンチャートラベル推進費	13

事業名	(新) 飲食業人材不足等対応支援費				担当部局	経済部	
事業コード	大	06	7	款	商工費	担当課・係	経済総務課 経済企画係
	中	22	1	項	商工費		
	小	54	1	目	商業振興費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	35,960千円			30,803千円		96円	
	決算額の 財源内訳	一般財源	国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源	
			30,803千円				
1 事業目的							
<p>これまでの休業要請など新型コロナウイルス感染症の影響を受け人材不足が顕著となっており、社会経済活動が本格化する中にあっても十分な営業を行うことができていない恐れのある飲食業において、人材不足を補いサービスを維持・向上させるための機器導入や新たなサービス実施のための設備投資等を支援する。</p>							
2 事業概要							
<p>市内及び旭川空港内で飲食業を営む中小企業・小規模事業者・個人事業主等に対して、人材不足を補いサービスを維持・向上させるための機器導入や、新たなサービスを実施するための設備投資に対する経費を補助した。</p> <p>一般財団法人旭川産業創造プラザへの補助額 30,803 千円 飲食業事業者への補助金 (24,843千円) 補助率 4分の3 補助上限額 100万円 募集期間・採択件数等 (当初) 令和5年8月1日から9月4日まで 31件の応募があり、31件を採択した (追加) 令和5年9月7日から9月22日まで 15件の応募があり、10件を採択した 補助実績 35件 (採択した41件中、辞退や交付決定取消し6件) 事務費 (5,960千円)</p>							
3 事業の成果							
<p>モバイルオーダーシステム、食器洗浄機、配膳ロボットなど、人材不足の解消に直結する設備の導入を支援することができた。 また、急速冷凍庫等によるテイクアウト品の強化等、新たなサービスの実施にも繋がるなど、人材が不足する中でも事業拡大・売上の増加を図る取組を支援することができた。</p>							
課題と今後の取組	<p>事業構築時、コロナ禍を経て有効求人倍率が急増した業種は飲食業と宿泊業となっていたが、人材不足の状況は続いている。あわせて物価上昇による経費の増が見込まれるなど飲食業は引き続き厳しい状況にあることから、今後も必要な対策について適時検討を行う。</p>						

事業名	中小企業振興資金融資事業費				担当部局	経済部	
事業コード	大	06	7	款	商工費	担当課・係	経済総務課 金融支援係
	中	22	1	項	商工費		
	小	15	1	目	商業振興費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	6,685,751千円			5,672,736千円		17,703円	
	決算額の 財源内訳	一般財源		国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源
		37,027千円		2,757千円			5,632,952千円

※費用には、物価高騰対策以外の事業費を含む

1 事業目的

市内で事業を営む中小企業者等の資金調達を円滑にするため、各種融資制度を展開するほか、借入時に発生する信用保証料や利子について補助を行うなど、金融面から市内中小企業者等を支援することを目的としている。
令和5年度は、令和4年度に引き続き、コロナ及び物価高騰の影響を受け、その対応に窮している中小企業者等に対し、信用保証料の補助を行うことで、資金繰りや経営の安定化を支援した。

2 事業概要

1 中小企業者等への資金の融資

〈令和5年度融資実績〉

- (1) 取扱資金数 10資金 (15種類)
- (2) 新規貸付額 4,011,910千円 (新規貸付件数 469件)
- (3) 貸付残高 (令和6年3月31日現在) 8,258,380千円 (融資件数 1,358件)

2 決算の概要

- (1) 金融機関への預託金 (貸付金) 5,608,010千円 (預託先 13金融機関)
- (2) 補助金の交付 59,196千円 (交付件数 829件)
 - (ア) 信用保証料補助 (29,534千円) (交付件数 356件)
 - (イ) 利子補給 (29,662千円) (交付件数 473件)
- (3) その他事務費等 5,530千円

3 事業の成果

物価高騰の影響に伴う事業資金の確保を支援するため、「災害・景気対策融資」を継続し、信用保証料補助により、資金調達コストの軽減を図ることで、円滑な資金調達に寄与した。

【令和5年度新規貸付実績】

- ・災害・景気対策融資 (景気関連) 3件 24,000千円

課題と
今後の取組

市内中小企業者等の融資に係るニーズを把握するとともに、社会経済情勢や、国、道、市の施策の方向性等を踏まえ、必要に応じて融資制度の見直しに努める。

事業名	旭川市事業継続支援金				担当部局	経済部	
事業コード	大	06	7	款	商工費	担当課・係	経済総務課 金融支援係
	中	22	1	項	商工費		
	小	53	1	目	商業振興費		
費用	予 算 額		決 算 額		市民一人当たりの決算額		
	138,949千円		131,437千円		410円		
	決算額の 財源内訳	一般財源	国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源	
		131,437千円					
1 事業目的							
<p>コロナによる売上減少に加え、エネルギー価格高騰による影響を受けている市内事業者に対し、北海道の「道内事業者等事業継続緊急支援金（エネルギー価格高騰分）」に上乗せして支援金を支給する。 また、北海道の支援金を受給していない事業者であっても、市が定めた申請要件を満たした市内事業者に支援金を支給することより、事業継続に向けた支援を行う。</p>							
2 事業概要							
<p>1 事業の概要</p> <p>(1) 給付要件：①道内事業者等事業継続緊急支援金（エネルギー価格高騰分）の給付決定を受けており、本店（本社）（個人事業者の場合は自宅住所）が市内にある事業者 ②道支援金を受給していないが、価格高騰の影響を受けており、市が定めた申請要件を満たした市内事業者</p> <p>(2) 給付額：法 人：5万円 個人事業者：2万5千円</p> <p>2 決算の概要</p> <p>(1) 交付実績：法 人：85,600千円（交付件数 1,712件） 個人事業者：44,650千円（交付件数 1,786件） 計：130,250千円（交付件数 3,498件）</p> <p>(2) その他事務費等 1,187千円（消耗印刷費、通信運搬費、広告料など）</p>							
3 事業の成果							
<p>コロナの影響による売上減少に加え、エネルギー価格高騰の影響を受けている事業者に対し、補助金を交付することにより事業継続に向けた一助となった。</p>							
課題と今後の取組	物価高騰などの社会経済情勢の変化や、市内事業者の地域経済について把握し、国、道、市の施策の方向性等を踏まえつつ、事業者の事業継続に向けた取組を実施していく。						

事業名	デザイン推進事業費				担当部局	経済部	
事業コード	大	06	7	款	商工費	担当課・係	産業振興課
	中	11	1	項	商工費		
	小	40	2	目	工業振興費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	22,677千円			21,677千円		68円	
	決算額の 財源内訳	一般財源		国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源
		5,517千円		8,899千円			7,261千円

1 事業目的

中小企業のブランド力向上、イノベーション創出等による稼ぐ力を強化するため、産学官金の連携によるデザイン経営の導入促進や人材育成、伴走支援を行う。
また、市民がデザインを通じて街を理解し、デザインの力を活用した地域活性化を図るため、デザイン思考の市民への浸透や市民参加型のデザインイベントの開催など、デザインの普及や啓発を推進する。

2 事業概要

- デザイン事業運営アドバイザー事業 12,575千円【委託料】
(旭川市CDPの登用)
・フードフォレスト旭川構想の推進
・市広報物のデザインのルールを検討 など
- デザイン経営の推進 2,300千円【負担金】
・各種セミナー等の開催
・デザイン経営伴走支援
- 各種イベントの開催支援 5,000千円【負担金】
・あさひかわデザインウィーク
・デザインイベント(まちなかキャンパス)
- デザイン創造都市の情報発信 1,800千円【負担金】
・各種広報媒体を活用した情報発信等
- その他事務費 2千円【筆耕翻訳料】



石川CDPによる特別研修の様子

3 事業の成果

旭川市CDPの登用によって、職員のデザインに対する意識・知識の向上が図られたほか、フードフォレスト旭川構想、デザインシステムなどに取り組んだ。
また、各種セミナーやイベントの開催によって、デザインの普及・啓発が図られた。

課題と今後の取組

さらなるデザインの普及・啓発を図るため、旭川市CDPや関係機関と連携して事業を推進する。

事業名	ユネスコ創造都市ネットワーク連携費					担当部局	経済部
事業コード	大	06	7	款	商工費	担当課・係	産業振興課
	中	11	1	項	商工費		
	小	86	2	目	工業振興費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	5,375千円			4,475千円		14円	
	決算額の 財源内訳	一般財源	国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源	
	1,825千円	1,893千円				757千円	

1 事業目的

「デザイン創造都市旭川」を推進するため、ユネスコ創造都市ネットワーク都市との連携の効果を最大限発揮し、デザインによる、豊かで創造性あふれる魅力的なまちづくりを目指す。

2 事業概要

- 1 サブネットワーク会議誘致活動負担金 3,000千円
あさひかわ創造都市推進協議会と連携し、「デザイン創造都市旭川」を推進するため、2024年に開催される「ユネスコ創造都市ネットワーク・サブネットワーク会議（デザイン分野）」誘致活動を行った。
- 2 ユネスコ創造都市旭川モニタリングレポート制作 785千円
2019～2023年に実施したデザイン創造都市旭川の活動をまとめ、ユネスコ創造都市ネットワーク事務局に報告した。
- 3 創造都市等 連携・交流事業 690千円
 - (1) UCCN年次総会、サブネットワーク会議 出席（オンライン）
 - (2) 各創造都市サミット等 出席（上海、武漢）
 - (3) 国内ネットワーク会議 出席（鶴岡市）
 - (4) 国内デザイン3都市カンファレンス 実施（東京都）
 - (5) うすき食文化フェス2024 参加（臼杵市）
 - (6) フォルタレザ市との交流ポスター展 開催（旭川市）
 - (7) 国内外の都市との交流
（ドーハ、バンドン、高岡市、神戸市ほか）



サブネットワーク会議誘致
プレゼンテーション

3 事業の成果

年次総会やサブネットワーク会議への出席（オンラインを含む）等、国内外の創造都市との交流などを行い、デザイン創造都市旭川のPRとユネスコ創造都市ネットワークとの連携強化を行った。また、UCCNサブネットワーク会議（デザイン分野）の誘致活動を行い、2024年10月の旭川開催が決定した。

課題と 今後の取組

デザイン創造都市として魅力を高めるため、ユネスコ創造都市ネットワークの各都市と連携した取り組みを進める。

事業名	(新) あさひかわデザインハブ検討費				担当部局	経済部	
事業コード	大	06	7	款	商工費	担当課・係	産業振興課
	中	11	1	項	商工費		
	小	95	2	目	工業振興費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	19,225千円			4,630千円		14円	
	決算額の 財源内訳	一般財源	国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源	
	4,630千円						

1 事業目的

市内の事業者やデザイナー、学生等の交流及び市民がデザインを学ぶ場として活用するなど、デザイン活動を実践することがきる拠点機能の検討を行う。

2 事業概要

- 地域おこし協力隊の活用 2,230千円
 - デザイン拠点の活用方法の検討
 - デザイン拠点を活用したイベントの企画、運営
 - 地域のクリエイター等との交流、活動を促進
- あさひかわデザインハブ検討負担金 2,400千円
 - 旭川デザインプロデューサーの活用
(ワークショップ、研修のファシリテーターなど)
 - デザイン拠点の活用に向けた環境整備
 - セミナー等の開催



デザイン拠点を活用したワークショップ

3 事業の成果

地域おこし協力隊の活用により、デザイン拠点としての機能改善を行い、クリエイター等と地域住民の交流促進が図られた。
また、デザイン拠点の環境整備によって、展示の場だけでなく、セミナーやワークショップ等の開催など、デザイン活動や交流の幅が広がった。

課題と今後の取組

効果的なデザイン拠点の活用に向け、地域おこし協力隊やデザイン関係団体等との連携を密にして、継続して検討・改善する。

事業名	スタートアップ伴走支援費				担当部局	経済部	
事業コード	大	06	7	款	商工費	担当課・係	産業振興課
	中	22	1	項	商工費		
	小	51	2	目	工業振興費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	7,486千円			6,988千円		22円	
	決算額の 財源内訳	一般財源		国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源
		2,238千円		2,494千円			2,256千円

1 事業目的

道北地域の産業支援機関である（一財）旭川産業創造プラザと連携し、起業・創業等の機運の醸成や、スタートアップ事業者に対する伴走支援などを行い、ビジネスプランの質の向上や起業後の早期の経営安定化を図る。

2 事業概要

- 1 スタートアップ伴走支援事業（委託事業）3,080千円
 起業・創業に必要な知識、スキルの習得や新事業創出の推進を図るため、以下の事業を実施。
 - (1)あさひかわBizcafeの開催 12回 参加者延べ231人
 - (2)わかものBizcafeの開催 1回 参加者44人
 - (3)新事業創出の支援 支援件数 3件
 - (4)各種セミナーの開催（インボイス、DX等）
- 2 スタートアップ伴走支援事業（補助事業）2,775千円
 - ・小規模枠…4件
 - ・成長枠…3件
- 3 道北ビジネスプランコンテスト開催（負担金）1,133千円
 - ・募集期間：令和5年11月1日～12月15日
 - ・応募件数：11件
 - ・一次審査（書類審査）：通過者5件
 - ・二次審査（最終プレゼンテーション）：
 令和6年2月17日開催 参加者120人（オンライン視聴含む）
 最優秀賞1名、旭川信金賞1名、優秀賞1名、来場者賞1名



あさひかわBizCafe
チラシ

3 事業の成果

窓口相談やセミナーを通じて、創業に関する基礎知識を身につけた起業・創業者を増やし、また、ビジネスプランコンテストを通じて、起業・創業の機運を醸成したほか、ビジネスプランをブラッシュアップしたことにより、事業の加速化や経営の安定化につなげた。

課題と今後の取組

引き続き、若年層を中心とした創業候補者を発掘するための事業を実施し、創業につなげていく。また、セミナー等をオンラインとリアル併用のハイブリッドで開催することにより、起業・創業者同士が基礎知識の習得やネットワーク形成を行うことができる場を創出に継続して取り組んでいく。

事業名	(新) IT企業進出支援費					担当部局	経済部
事業コード	大	06	7	款	商工費	担当課・係	企業立地課
	中	12	1	項	商工費		
	小	74	3	目	企業誘致費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	12,900千円			1,887千円		6円	
	決算額の 財源内訳	一般財源	国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源	
		1,887千円					

1 事業目的

情報通信関連企業の誘致を促進するため、市内に新たに事業所を開設した事業者に対して、経費の一部を助成する。

2 事業概要

- 1 対象業種 情報通信関連企業（情報サービス業、データセンター業等）
- 2 補助要件
 - (1) 市外において1年以上の事業実績を有すること。
 - (2) 事業所を市内に有していない者で、新たに事業所を市内に開設し、継続的に運営する者であること
 - (3) 事業所の常用雇用者が2人以上であること
 - (4) 事業開始日が事業所の賃貸借契約日から6か月以内であること など
- 3 補助対象／補助限度額
 - (1) 事業所賃借料の2分の1／月額10万円
 - (2) 通信回線使用料の10分の10／月額10万円
 - (3) 市内データセンターが提供するサービス利用料の10分の10／月額3万円
- 4 補助期間 最大36か月
- 5 令和5年度交付実績
 - (1) 交付件数 3件
 - (2) 交付金額 1,887千円
 内訳

賃借料	1,598千円
通信回線使用料	289千円

3 事業の成果

情報通信関連企業が進出したことにより、税収や移住者の増、新たな雇用機会の創出につながった。また、新しい企業の進出により、地域経済の活性化が図られた。

課題と今後の取組

引き続き、首都圏で開催される展示会やセミナー等にて、地方への拠点開設を検討している企業に周知するとともに、競合する他都市の助成内容を注視し、企業ニーズに合った補助内容に改善する。

事業名	施設整備費（動物園事業特別会計）				担当部局	経済部	
事業コード	大	07	1	款	総務費	担当課・係	旭山動物園
	中	12	1	項	総務管理費		
	小	25	1	目	総務管理費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	325,800千円			231,095千円		721円	
	決算額の 財源内訳	一般財源	国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源	
	40,268千円					190,827千円	

1 事業目的

旭山動物園の使命であるレクリエーション、環境・生命教育、種の保存、動物学研究所の機能を高め、魅力ある北国の動物園づくりを推進するため、動物展示施設の整備、外構整備、利便施設整備などを行う。

2 事業概要

ゼロカーボンの取り組みとして、ペレットストーブを3基導入し、その燃料として園内の未利用木材剪定枝などを集めて作ったペレットを活用した。

1 ペレットストーブ導入に関する経費
取付修繕費 2,794千円

2 その他経費
 消耗印刷費 5千円
 修繕費 77,984千円
 ※ペレットストーブ取付修繕費除く
 役務費 184千円
 自動車損害保険料 18千円
 委託料 23,131千円
 工事請負費 111,756千円
 公有財産購入費 7,000千円
 備品購入費 8,217千円
 公課費 6千円



東門ペレットストーブ

3 事業の成果

ペレットストーブを導入し、園内の未利用木材剪定枝などを集めて作ったペレットを燃料とすることで、エネルギーの循環利用とPRを行い、地域木質バイオマス利活用の促進につながった。

課題と
今後の取組

動物展示施設の整備、既存施設の老朽化に伴う整備等に加え、博物館施設としての機能強化、ゼロカーボンZOOの取組みを推進し、魅力ある動物園づくりに努める。

事業名	旭川観光コンベンション協会補助金				担当部局	観光スポーツ部	
事業コード	大	07	7	款	商工費	担当課・係	観光課
	中	21	1	項	商工費		
	小	17	4	目	観光費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	44,552千円			41,352千円		129円	
	決算額の 財源内訳	一般財源	国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源	
	40,852千円	500千円					
1 事業目的							
<p>本市の観光資源の開発と紹介宣伝，コンベンション誘致等の役割を担う一般社団法人旭川観光コンベンション協会に対し支援することで，観光振興の推進を図る。</p>							
2 事業概要							
<p>1 補助金交付先 一般社団法人旭川観光コンベンション協会</p> <p>2 補助事業費一覧</p> <p>(1) 一般社団法人旭川観光コンベンション協会補助金 17,802千円 観光情報の発信等を担う一般社団法人旭川観光コンベンション協会の運営に係る費用の一部を補助（人件費，管理運営・事業費）</p> <p>(2) コンベンション誘致推進事業補助金 4,500千円 コンベンション主催者等への誘致推進に伴う費用の一部を補助（旅費交通費，通信運搬費，印刷製本費，コンベンション開催支援金，宣伝関係費，催事費，車両費，情報収集費，その他経費）</p> <p>(3) コンベンション誘致活動運営補助金 17,450千円 コンベンション推進活動に係る費用の一部を補助（給与手当，通勤手当，派遣費，福利厚生費，雑費，委託料）</p> <p>(4) 一般社団法人旭川観光コンベンション協会管理費補助金 1,600千円 観光振興を一体となり図っていくことを目的に，フードテラス2階に市と旭川観光コンベンション協会を集約させるため，執務室の賃借料の一部を補助</p>							
3 事業の成果							
<p>本市の各観光事業にかかわる民間協力体制が整備された。 道北地域の経済・産業の活性化と文化の向上，旭川市の対外的イメージアップに寄与した。 コンベンション誘致を推進したことによる人の流動により，経済波及効果が図られた。 旭川の観光資源の開発や紹介宣伝，観光施設の設備改善等に資するため，旭川フードテラス2階での市と旭川観光コンベンション協会の集約を継続することで，利便性の向上につながった。</p>							
課題と今後の取組	観光振興の役割を担う（一社）旭川観光コンベンション協会の安定運営に向けて引き続き支援を行う。						

事業名	観光プロモーション推進費				担当部局	観光スポーツ部	
事業コード	大	07	7	款	商工費	担当課・係	観光課
	中	21	1	項	商工費		
	小	18	4	目	観光費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	14,294千円			13,942千円		44円	
	決算額の 財源内訳	一般財源		国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源
		8,942千円		5,000千円			
1 事業目的							
<p>観光入込客数及び観光客宿泊数の増加を図るため、他自治体とも連携しながら本市の知名度の向上及びイメージアップに資する観光客誘致活動を実施する。</p>							
2 事業概要							
<p>1 負担金</p> <p>(1) あさひかわ観光誘致宣伝協議会負担金 10,200千円</p> <p>(2) 道内中核都市観光連携協議会負担金 1,400千円</p> <p>主な実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致宣伝対策事業 旅行代理店・個人旅行者等を対象とした観光プロモーションや広告宣伝 ・招へい事業 国内からの観光客誘致を目的とした、旅行代理店等に対する視察研修会 ・外国人観光客誘致事業 海外観光客誘致を目的とした、旅行代理店等に対するプロモーションや広告宣伝 <p>2 プロモーション等に係る旅費 2,142千円 観光客誘致が見込まれる国・地域への現地プロモーションを実施</p> <p>3 あさっぴー着ぐるみに係る保守・保険等経費 200千円</p>							
3 事業の成果							
<p>観光入込客数、宿泊延数、外国人宿泊延数のいずれも前年度を大幅に上回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光入込客数 (4,735,000人 前年比 114.5%) ・宿泊延数 (974,200泊 前年比 144.8%) ・外国人宿泊延数 (211,121泊 前年比 435.3%) 							
課題と今後の取組	<p>観光客数や宿泊者数は、堅調な回復振りを示しているものの、コロナ禍前の水準には到達していないことから、引き続き誘致活動の推進に努める。</p>						

事業名	大雪カムイミンタラDMO推進費				担当部局	観光スポーツ部	
事業コード	大	07	7	款	商工費	担当課・係	観光課
	中	21	1	項	商工費		
	小	25	4	目	観光費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	79,640千円			79,375千円		248円	
	決算額の 財源内訳	一般財源	国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源	
	64,123千円	15,252千円					
1 事業目的							
<p>滞在型、通年型観光の促進に向けたマウンテンシティリゾートの形成を推進するため、スキー場を核とした冬季観光推進事業、マーケティング調査及び各種モデル事業等を実施する（一社）大雪カムイミンタラDMOを支援する。</p>							
2 事業概要							
<p>1 （一社）大雪カムイミンタラDMO会費負担金 74,430千円</p> <p>(1) マーケティング調査・分析・検証 来訪者満足度調査、観光動向調査等</p> <p>(2) 着地型旅行商品の開発・造成・販売 体験型カタログギフト制作、雪板による旅行商品造成、川下り実証実験等</p> <p>(3) 情報発信・プロモーションの強化 ツーリズムEXPOジャパン、NATAS TRAVEL2024等への参加、Travel Contentsアプリを活用した情報発信</p> <p>(4) アドベンチャートラベルの推進 ATWS参加、ポストサミットアドベンチャー実施</p> <p>(5) カムイスキーリンクスの管理運営、都市型スノーリゾートの推進 リフト券売り場の混雑緩和、二次交通の強化（旭川市内⇄リンクスのバス増便）、カムイゴンドライドの実施</p> <p>2 地域活性化起業人制度に関する負担金 4,945千円 地域活性化起業人制度に基づき、包括連携協定を結んでいる阪急交通社からの出向職員を受け入れ、ノウハウや知見を活かした取組を実施した。</p>							
3 事業の成果							
<p>（一社）大雪カムイミンタラDMOがマーケティング調査や圏域情報発信、地域活性化起業人の専門的なノウハウや知見を生かした旅行商品造成などを行った。</p> <p>（一社）大雪カムイミンタラDMOが指定管理者を務めるカムイスキーリンクスについて、他エリアや圏域のスキー場と連携し、利用促進に向けた取組を充実させている。</p>							
課題と今後の取組	（一社）大雪カムイミンタラDMOの安定運営に向けて引き続き支援を行う。						

事業名	(新) アドベンチャートラベル推進費				担当部局	観光スポーツ部	
事業コード	大	07	7	款	商工費	担当課・係	観光課
	中	21	1	項	商工費		
	小	48	4	目	観光費		
費用	予 算 額			決 算 額		市民一人当たりの決算額	
	6,844千円			6,510千円		20円	
	決算額の 財源内訳	一般財源		国庫支出金	道支出金	市 債	その他特定財源
		6,510千円					
1 事業目的							
<p>国内外から新たな観光客の誘客拡大を図るため、世界各国から関係者が集まる「アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023 ポストサミットアドベンチャー」に参画し、「自然体験」、「地域文化」、「屋外スポーツ」といったアドベンチャートラベルに係るコンテンツを国内外に発信する。</p>							
2 事業概要							
<p>1 負担金 6,400千円 アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会への負担金 (ポストサミットアドベンチャー実施費、会場内映像発信、実行委員会ホームページ等での自治体PR掲載)</p> <p>2 旅費 110千円 実行委員会、関係機関等との調整に係る旅費</p>							
							
▲ATWS2023の様子							
3 事業の成果							
<p>本サミットを通じて参加者、旅行会社等の関係者に本市を含む道北圏域の魅力を国内外に向けて発信することにつながった。</p>							
課題と今後の取組	<p>現地ガイドや申込先のホームページ等の多言語対応における観光客の受入体制に課題があるため、受入体制の強化を図るとともに、本圏域のアドベンチャートラベルコンテンツの充実と商品造成を行う大雪カムイミンタラDMOと連携し、アドベンチャートラベル市場に向けた継続的なPRを行っていく。</p>						